

つなぐ

Vol.46

2021.8月

2021年8月、左心耳閉鎖システム「WATCHMAN」が100症例目を迎えた。

この治療は、消化管出血などの出血合併症で、抗凝固薬を安全に服用できない患者に対し、有効かつ安全な治療法として登場した。心房細動で血栓ができやすい左心耳に、カテーテルを用いてデバイスを埋め込み、永久的に閉鎖してしまう治療法だ。これによって脳梗塞のリスクを抗凝固療法並みに低減させながら、抗凝固薬の服用を中止することができるようになる。

また当院では、循環器内科・脳神経外科・消化器内科が連携し、個々の患者さんの出血リスクなど患者背景に合致した治療法を選択するようにしている。いまや出血対策や脳卒中予防はいち診療科だけで完結できるものではなく、診療科の垣根を越えて行われるものとなった。

このチームを取りまとめているのが、循環器内科の福永真人だ。彼は2015年から2年間チエコへ留学し、不整脈の最新治療に携わってきた。今はこの地で新たなチャレンジを続ける仲間たちと一緒に、患者さんの明日へとつながる医療を追い求めている。



第55回

小倉循環器内科セミナー

2021年 9月14日(火) 18:00~18:30



最近の心臓血管外科治療



座長

小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児

講師

小倉記念病院 心臓血管外科 主任部長 大野 暢久

参加方法



ZOOMによる web参加のみとなります!

zoomの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研究会→④Zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

